

学習指導要領における各項目の分類・整理や関連付け等に資する
取組の推進に関する有識者会議（発表用メモ）

一般社団法人 教科書協会／岡本哲明（東京書籍株式会社）

1 「主たる教材」＝教科書（教科用図書）の特性

① 「主たる教材」の三条件

学習指導要領，学習指導要領解説，教科用図書検定基準 に基づく

民間の発行者が創意工夫を加えて著作・編集し，文部科学大臣の検定を受ける

② 「主たる教材」の三面性

児童・生徒のための学習材，教師のための教材，学校という場での使用 への配慮が重要

③ 「主たる教材」の三課題

編集・制作，使用の期間，義務教科書は基本的に 1 教科 1 種類の使用，労力・コスト

（平成 32 年度版小学校教科書）

2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)
編集	→	検定	採択	使用	→	→	→

2 「主たる教材」から見た，学習指導要領のコード化の意義，可能性

① 「主たる教材」を活用する

・教科横断的な学習，資質・能力の育成（学習の基盤・現代的な諸課題への対応）

・カリキュラム・マネジメントに有効

⇒教科書編集，教師用指導書への利用

※利用の目的に合わせ，学習指導要領コードに観点，情報を付加（カスタマイズ）できるとよい

② 「主たる教材」から，学びを広げ，深める

・図書教材，デジタル教材

・多様な資料への展開

【別紙資料】 現行教科書の「学習指導要領との対照表」（編修趣意書）

（資料①小学校理科，資料②中学校理科）

現行教科書の「教科関連表」（内容解説資料）

（資料③ - 1 防災・減災教育，③ - 2 小学校算数教材，

資料④問題解決能力の育成）

学習指導要領との対照表（第 6 学年）

単元名	申請図書ページ	学習指導要領との対照	
		学習指導要領の内容	内容の取扱い
● 生きている地球	p.4～11	A(1)ア A(2)ア, イ, ウ A(4)ア, イ, エ B(1)ア, ウ, エ B(2)ア, イ B(3)ア B(4)ウ	
1 物の燃え方と空気	p.12～27	A(1)ア	
2 動物のからだのはたらき	p.28～47 巻末折込(人体模型)	B(1)ア, イ, ウ, エ	(2)ア, イ
3 植物のからだのはたらき	p.48～61	B(2)ア, イ	
● 学びをつなごう①	p.62～63	B(2)ア, イ	
4 生き物の暮らしと環境	p.64～79	B(3)ア, イ	(3)
● 学びをつなごう②	p.80～81	B(2)イ B(3)ア	
○ わたしの研究	p.82～83	A(1)ア B(1)ア, イ, ウ, エ B(2)ア, イ	(2)ア, イ
5 太陽と月の形	p.84～99	B(5)ア, イ	(5)
6 大地のつくり	p.100～117	B(4)ア, イ	(4)ア, イ
7 変わり続ける大地	p.118～129	B(4)ウ	
● 学びをつなごう③	p.130～131	B(4)ア, イ, ウ	
8 てこのはたらき	p.132～145	A(3)ア, イ, ウ	
9 水溶液の性質とはたらき	p.146～165	A(2)ア, イ, ウ	
10 電気と私たちの暮らし	p.166～183	A(4)ア, イ, ウ, エ	
● 学びをつなごう④	p.184～185	A(1)ア A(4)ア, イ, ウ, エ	
11 地球と私たちの暮らし	p.186～193	A(1)ア A(2)ア, イ, ウ A(4)ア, イ, エ B(2)ア B(3)ア B(4)ウ	

単元	編集上のポイント
1 イオン 化学変化と	<ul style="list-style-type: none"> 粒子に対する考えを深めるために、イオンのモデルを用いて自分の考えを表現する場面を設定しています。 つまづきやすいイオン式や電池のしくみの学習では、例題を設けて丁寧に記述しています。 塩化銅水溶液の電気分解や中和の学習では、実験結果とモデルを併せて考えさせる探究的な展開としました。
2 連続性 生命の	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容をより深めたり、生活や職業と関連づけたりできるコラムを積極的に取り入れています。 第1章3節「有性生殖」では、動物と植物の生殖を整理して示しており、有性生殖の本質が容易に理解できます。 第1章4節「染色体の受けつがれ方」では、減数分裂を無理なく探究的に考えることのできる展開にしています。
3 エネルギー 運動と	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーの概念を一貫して学べるように、第3章ではエネルギーの変換と保存の内容まで扱いました。 仕事や仕事率などのつまづきやすい内容は、計算問題を複数設けて内容の定着を図れるようにしました。 高校とのつながりを意識し、位置エネルギーを求める式など必要に応じて高校の内容を扱えるようにしました。
4 地球と 宇宙	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入で「星空をながめよう」を設定し、夜空に親しんでから単元の学習に入るようにしました。 生徒がつまづきやすい天体の年周運動では、新たに例題を取り上げて具体例を交えながら丁寧に解説しました。 太陽系のスケール、月や金星の満ち欠けでは、モデル実習を取り上げ、実感をもって学習できるようにしました。
5 私たちの 地球と 未来のため	<ul style="list-style-type: none"> 第1章1節「生態系」では、新しく導入した各図版によって、科学的概念を無理なく理解できるようにしました。 第3章では、具体例や身近な事例を取り上げながら、自然災害のしくみと防災・減災について解説しました。 放射線については、身のまわりの事例をもとに、自ら考えて判断する姿勢を養える構成としました。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
単元 1 イオン 化学変化と		第1分野 内容(6)	8-65ページ	
	1章 水溶液とイオン	第1分野 内容(6)ア(ア)(イ), 内容の取扱い(7)ア	10-26ページ	9
	2章 化学変化と電池	第1分野 内容(6)ア(ウ), 内容の取扱い(7)イ	27-38ページ	7
	3章 酸, アルカリとイオン	第1分野 内容(6)イ(ア)(イ), 内容の取扱い(7)ウ, エ	39-57ページ	11
単元 2 連続性 生命の		第2分野 内容(5)	66-109ページ	
	1章 生物の成長と生殖	第2分野 内容(5)ア(ア)(イ), 内容の取扱い(6)ア, イ	68-86ページ	14
単元 3 エネルギー 運動と		第1分野 内容(5)	110-173ページ	
	1章 物体のいろいろな運動	第1分野 内容(5)ア(イ)(ウ), 内容の取扱い(6)ア, イ	112-125ページ	11
	2章 力の規則性	第1分野 内容(5)ア(ア)	126-139ページ	7
	3章 エネルギーと仕事	第1分野 内容(5)イ(ア)(イ), (7)ア(ア), 内容の取扱い(6)ウ, エ, (8)ア	140-165ページ	13
単元 4 地球と 宇宙		第2分野 内容(6)	174-229ページ	
	1章 宇宙の広がり	第2分野 内容(6)イ(ア)(ウ), 内容の取扱い(7)イ, エ	178-191ページ	10
	2章 地球の運動と天体の動き	第2分野 内容(6)ア(ア)(イ), 内容の取扱い(7)ア	192-211ページ	11
	3章 月と惑星の見え方	第2分野 内容(6)イ(イ)(ウ), 内容の取扱い(7)ウ, エ	212-221ページ	5
単元 5 地球と 私たちに 未来のため		第1分野 内容(7), 第2分野 内容(7)	230-301ページ	
	1章 自然のなかの生物	第2分野 内容(7)ア(ア), 内容の取扱い(8)ア	232-243ページ	6
	2章 自然環境の調査と保全	第2分野 内容(7)ア(イ), 内容の取扱い(8)イ	244-251ページ	5
	3章 自然の恵みと災害	第2分野 内容(7)イ(ア), 内容の取扱い(8)ウ	252-263ページ	8
	4章 科学技術と人間	第1分野 内容(7)ア(イ), イ(ア), 内容の取扱い(8)イ	264-283ページ	9
	終章 持続可能な社会をつくるために	第1分野 内容(7)ウ(ア), 内容の取扱い(8)ウ, 第2分野 内容(7)ウ(ア), 内容の取扱い(8)エ	284-295ページ	5